

経営協議会議事要録

1. 日時 平成25年6月18日(火) 13:30～15:05
2. 場所 事務局3階 大会議室
3. 出席者 佐藤(学長・議長)
岡井, 櫛引, 熊地, 島, 永澤
神田, 江羅, 中根, 加藤(陽), 大河原, 藤, 鈴木
の各委員13名
- 欠席者 青山, 大谷, 加藤(丈), 山本の各委員
- 陪席者 井口学長特別補佐, 神本学長特別補佐, 南條学長特別補佐, 羽田学長特別補佐, 北川監事, 小田切監事
- 事務局陪席 中村総務部長, 須藤財務部長, 伊藤学務部長, 天野施設環境部長, 山崎研究推進部長, 寺坂医学部附属病院事務部長, 北崎総務課長, 齊藤企画課長, 小田桐広報・国際課長, 池田人事課長, 玉田人事企画調整役, 奥田財務企画課長, 村市財務管理課長, 浅利契約課長, 武田施設企画課長, 佐野経営企画課長

4. 配付資料

- 資料1 経営協議会委員名簿(平成25年4月1日現在)
- 資料2-1 平成24事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)
- 資料2-2 平成22～24事業年度における「共通の観点」に係る取組状況に関する資料(案)
参考資料: 平成24事業年度に係る業務の実績に関する報告書の作成について
- 資料3 大学機関別認証評価 自己評価書(案)
参考資料: 大学機関別認証評価自己評価書について
- 資料4-1 国立大学法人弘前大学職員給与規程の一部改正について
- 資料4-2 国立大学法人弘前大学職員給与規程新旧対照表(案)
- 資料5-1 平成24事業年度決算の概要
- 資料5-2 平成24事業年度財務諸表(案)
- 資料5-3 平成24事業年度事業報告書(案)
- 資料5-4 平成24事業年度決算報告書(案)
- 資料5-5 国立大学法人弘前大学の平成24事業年度財務諸表及び決算報告書に関する意見書
- 資料5-6 独立監査人の監査報告書
- 資料5-7 平成24年度医学部附属病院の収支実績について
- 資料6 平成26年度 概算要求関係資料
- 資料7 東日本大震災により被災した弘前大学入学志願者の検定料の免除に

- 関する取扱要項（案）
- 資料 8 監事監査報告書
- 資料 9 平成 25 年度医学部附属病院の運営について

- ・ 議事に先立ち議長から、資料 1 に基づき、現委員の紹介があった。

5. 議事

- ・ 議長から、3月19日及び3月25日開催の議事要録（案）の可否について諮り、承認された。

審議事項

審議 1 平成 24 事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について

神田理事から、平成 24 事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会へ提案することが承認された。

なお、字句等の修正等については、学長に一任することです承された。

審議 2 大学機関別認証評価 自己評価書（案）について

神田理事から、大学機関別認証評価 自己評価書（案）の概要について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会へ提案することが承認された。

なお、字句等の修正等については、学長に一任することです承された。

審議 3 国立大学法人弘前大学職員給与規程の一部改正について

江羅理事から、国立大学法人弘前大学職員給与規程の一部改正について説明があり、審議の結果、原案を一部修正の上、了承され、役員会へ提案することが承認された。

なお、青森県議会の審議結果等を踏まえ、施行日等については、学長に一任することです承された。

審議 4 平成 24 事業年度財務諸表等について

江羅理事、藤附属病院長から、平成 24 事業年度財務諸表等について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承され、役員会へ提案することが承認された。

なお、北川監事から、会計監査人の監査の方法及び結果は、相当であることの報告があった。

審議 5 平成 26 年度概算要求について

江羅理事から、平成 26 年度概算要求について説明があり、審議の結果、原案を一

部修正の上，了承され，役員会へ提案することが承認された。

なお，要求順位や要求額等については，今後の文部科学省との折衝を踏まえ，学長に一任することで了承された。

審議6 東日本大震災により被災した弘前大学入学志願者の検定料の免除について

中根理事から，東日本大震災により被災した弘前大学入学志願者の検定料の免除について説明があり，審議の結果，原案のとおり了承され，役員会へ提案することが承認された。

報告事項

報告1 平成24年度監事監査報告について

北川監事から，平成24年度監事監査報告の結果について報告があった。

報告2 平成25年度医学部附属病院の運営について

藤附属病院長から，平成25年度医学部附属病院の運営について報告があった。

質疑応答（：学外委員：学内委員）

手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を導入していることのメリットは何か。

患者さんに対して優しい手術が出来ること。また，医師はリラックスして手術が出来る。

本学では，「ダ・ヴィンチ」の導入が比較的早かったため，技術的には完成に近づいており，他大学の附属病院へも指導を行っているほどである。

戦略本部棟耐震改修の概要を説明していただきたい。

各国立大学法人における本部棟の改修は，文部科学省，財務省において，耐震改修以外の改修については，厳しい査定と聞いている。

本学においては，震災拠点として，耐震改修の観点の外，障害者にも配慮した要求を行う予定であるため，査定の状況によっては，自己財源の投入もあり得る。

東日本大震災により被災した学生等への支援状況を説明していただきたい。

入学志願者の検定料免除は，平成24年度が106名，平成25年度が62名である。授業料免除については，平成24年度は57名，平成25年度現在においては35名であり，若干減少している。

監事監査報告書の「地域との連携について」において，弘前商工会議所と弘前大学が協定を締結しているものの，協定に基づいた具体的な取組みに進展していな

い事例があるとの報告は，その通りであると考え。弘前市長は産官学金のオール弘前で連携していきたい考えがあり，弘前商工会議所においても弘前大学と連携を密にしていきたいと考えている。是非，具体的な取組みを進めていただきたい。

弘前大学としても是非お願いしたい。

以上